元気です！ー 会員企業ご紹介 ー

地域に求められる総合診療を目指して

医療法人たんぽぽ会 島田脳神経外科

医療技術の進歩に加え、健康志向の意識が高まり『人生１２０年』という時代を迎えようとしていると言われています。しかし、平均寿命を延ばすだけではなく、元気で暮らせる健康寿命を延ばすことの方が大切であると、錦町にある医療法人たんぽぽ会は、患者と誠心誠意向き合う医療に取り組んでいます。

診療科目は、主に脳神経外科ですが、一般内科、循環器内科、精神科、また、在宅医療や認知症など総合診療を目指しています。

島田孝院長は、小樽出身で北海道大学医学部卒業後、脳神経外科、脳卒中センター、救命救急センターなどの医療現場で多くの経験を積み、平成２年に小樽で開業しました。

総合医療を目指して活躍されている現在の姿には、恩師の教えがあるそうです。「学んだ医学の知識の全てで、目の前の患者を診なければならない」その教えを胸に刻み、病気と向き合う医療ではなく、人と向き合う姿勢を常に忘れずに、臨床医は、『よろず相談受付』であるとの信念を貫いてきたそうです。

■訪問診療のニーズの高まり

平成12年に創設された介護保険制度を受けて、訪問診療を開始、高齢者の健康管理に努め、その人に合ったアドバイスをしています。

「高齢者の健康管理を考えるうえでリハビリは重要」と島田院長は強く感じています。

患者が一日でも長く自立した日常生活を過ごすことができるよう理学療法室や作業療法室を備え、専門スタッフが丁寧にサポートしています。

「最近、訪問診療の要望が増え病院での午後の診療は週２日にしました」と通院できない患者のために、訪問診療を増やしました。

住み慣れた町で普段通りの生活を続けてもらうためにサポートする訪問診療は、今後ますます必要性が高まると感じています。

■認知症は接し方が大切

平成31年に法人名を「たんぽぽ会」と改名しました。法人名の「たんぽぽ会」は、アスファルトの間からでも力強く咲くたんぽぽの生命力の強さに惹かれて名付けたそうです。「後から調べたら、多くの使われている名称だった」と笑いながら話してくれました。

また、令和元年に北海道から「認知症疾患医療センター」の指定を受け、地域包括ケアにも取り組んでいます。特に認知症外来は20年以上にもなり、認知症サポート医として、後志圏域の相談や診断体制を整えています。

認知症の診断は時間がかかり、診療時間も長くなるそうです。認知症の相談に来られる方々のために、周りの目を気にせずにとの配慮から「認知症外来日」を設けています。

認知症は病気であるのに、患者や家族は周囲に対してマイナスのイメージを感じる方もいるようですが、気軽に相談できる病院として、スタッフ全員で認知症に対する理解を広めるために努力しています。

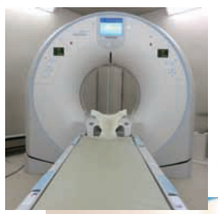
また、若い方でも突然認知症を発症する場合もあります。一緒に働く仲間が発症した際の接し方や対応方法を知ることも必要であり「企業・組織向けの認知症サポーター養成講座」を開始しました。

当初は、センターの周知方法や活動の進め方に苦慮しましたが、自分たちでパンフレットを作って、多くの市民に知ってもらうために歩き回るなど、自ら道を切り開き、現在も認知症疑いの方に対して早期に介入し、医療や介護につなげる活動に取り組んでいます。

「患者が良くなる方法を常に考えながら、ずっと走り続けてきた」と語る島田院長。長年勤めるスタッフが多く、全員が一丸となって一途に患者のために努力を重ねてきたことがチームワークを強め、また患者からの信頼につながっています。

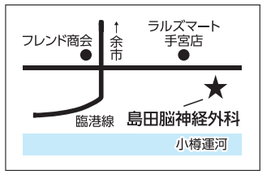
ゆったりとした待合スペース

笑顔が素敵なスタッフの皆さん



MRIなどの診断機器が揃っています

通所リハビリを利用する方を安全に送迎します

リハビリ室、専門スタッフがお一人ずつサポートします

医療法人たんぽぽ会
島田脳神経外科
小樽市錦町1ー2　電話：22-4310
診療時間（土日祝日休診）
月・水・金　9:00～11:30
火・木　9:00～11:30
14:30～17:30
訪問診療
月～金曜日　13:00～15:00